岡山市子どもの予防接種の種類とスケジュール（H30.4.1版）

→標準的な接種年齢　→対象年齢（法定年齢）

ワクチン	種類	標準的な接種年齢（接種可能な年齢）	スケジュール例	接種チェック欄
ヒブ（インフルエンザ菌b型）	不活化	生後2～7か月未満（生後2か月～5歳未満）	1回目 2回目 3回目 4回目 ・接種開始月齢　2～7か月未満　初回3回　追加1回 ・接種開始月齢　7～12か月未満　初回2回　追加1回 ・接種開始年齢　1～5歳未満　1回 対象年齢：2か月～5歳未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　） □3回目（　．　．　） □4回目（　．　．　）
小児用肺炎球菌	不活化	生後2～7か月未満（生後2か月～5歳未満）	1回目 2回目 3回目 4回目 ・接種開始月齢　2～7か月未満　初回3回　追加1回 ・接種開始月齢　7～12か月未満　初回2回　追加1回 ・接種開始年齢　1～2歳未満　2回 ・接種開始年齢　2～5歳未満　1回 対象年齢：2か月～5歳未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　） □3回目（　．　．　） □4回目（　．　．　）
B型肝炎	不活化	生後2～9か月未満（生後0～12か月未満）	1回目 2回目 3回目 27日以上の間隔をおいて2回接種後、1回目から139日以上の間隔をおいて3回目を接種 対象年齢：0～12か月未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　） □3回目（　．　．　）
BCG	生	生後5～8か月未満（生後0～12か月未満）	1回 1回接種 対象年齢：0～12か月未満	□（　．　．　）
四種混合（ジフテリア・百日せき破傷風・ポリオ）	不活化	＜Ⅰ期初回＞ 生後3～12か月（生後3～90か月未満） ＜Ⅰ期追加＞ Ⅰ期初回終了から12～18か月後（生後90か月未満）（初回終了から少なくとも6か月はあける）	1回目 2回目 3回目 4回目 ＜Ⅰ期初回＞ 20～56日までの間隔で3回 ＜Ⅰ期追加＞ Ⅰ期初回終了後、1回 対象年齢：3～90か月未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　） □3回目（　．　．　） □4回目（　．　．　）
水痘	生	1～3歳未満（2回目は初回終了から少なくとも3か月あける）	生後12～15か月に1回、その後6～12月の間隔で1回 1回目 2回目 対象年齢：1～3歳未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　）
麻しん・風しん	生	＜Ⅰ期＞ 1～2歳未満 ＜Ⅱ期＞ 5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間	1回目 1回接種 2回目 1回接種 Ⅰ期対象年齢：1～2歳未満 Ⅱ期対象年齢：小学校就学前の1年間	□Ⅰ期（　．　．　） □Ⅱ期（　．　．　）
二種混合	不活化	＜Ⅱ期＞ 11歳（11～13歳未満）	1回接種 1回 対象年齢：11～13歳未満	□（　．　．　）
日本脳炎	不活化	＜Ⅰ期初回＞ 3歳（生後6～90か月未満） ＜Ⅰ期追加＞ 4歳（生後90か月未満） ※初回終了から少なくとも6か月あける ＜Ⅱ期＞ 9歳（9～13歳未満） ※いずれも4～6月が望ましい	＜Ⅰ期初回＞ 6～28日までの間隔で2回 1回目 2回目 3回目 ＜Ⅰ期追加＞ Ⅰ期初回終了後、1回接種 4回目 ＜Ⅱ期＞ 1回 Ⅰ期対象年齢：6～90か月未満 Ⅱ期対象年齢：9～13歳未満	□1回目（　．　．　） □2回目（　．　．　） □3回目（　．　．　） □4回目（　．　．　）
日本脳炎特例対象者		「H19.4.1以前」生まれの方 Ⅰ期及びⅡ期の不足回数（1～4回）を20歳未満まで接種することができます。	1～4回の不足分を接種 特例措置：20歳未満	
		「H19.4.2～H21.10.1」生まれの方 Ⅰ期の間に接種が完了しなかった場合、Ⅱ期の対象年齢の間にⅠ期不足分接種が可能	Ⅰ期対象年齢：6～90か月未満 Ⅱ期対象年齢：9～13歳未満 Ⅰ期の不足分をⅡ期の時期に接種可	

※不活化ワクチン…不活化ワクチンを接種した日から別の種類の予防接種を行うまでの間隔は、6日以上空ける必要があります。
　生ワクチン…生ワクチンを接種した日から別の種類の予防接種を行うまでの間隔は、27日以上間隔を空ける必要があります。
※接種費用は対象年齢内であれば、すべて無料です。予防接種はいずれも個別接種となっています。